

新聞切りブース 運営マニュアル

① 準備物品

- 新聞紙：200枚程度（見開き使用）
- 竹刀：対象に合わせた寸法を複数本
- 緩衝マット：床面保護・安全確保用

② 基本レイアウト

- 実施列：2列（A列／B列）
- 新聞保持：各列で「2人1組」で見開きを水平保持
- 誘導係：各列に1名配置（安全管理・進行）
- 監督者：全体の安全統括・指示（着座指示を含む）

③ 役割と動線

■ 誘導係

- 列の整列・安全確認
- 参加者の年齢・体格に応じた竹刀の受け渡し
- 実施合図と入替タイミングの管理

■ 監督者

- 参加児童の着座・待機位置の指示
- 全体進行・安全最終確認
- 開始前デモの実施（注意点説明を含む）

■ 新聞保持者（2人1組）

- 両端から新聞を水平保持し、実施者の肩の高さ＝新聞上端に調整
- 児童の動線を塞がない立ち位置を維持



▲ 新聞切り体験の様子（会場全体）

④ 実施手順（標準）

- 床に緩衝マットを敷設し、安全域をテープ等でマーキング
- A列・B列に分かれて整列。監督者が注意事項（待機姿勢、合図で動く等）を周知

【デモ】監督者が参加者の前で新聞切りを実演。声に出して以下を説明：

★ 説明ポイント

- 姿勢：足幅／体の向き／過度な前傾禁止
 - 竹刀の持ち方：握りの位置と強さ（小指・薬指中心）
 - 振り方：刃筋を通す直線的な軌道、横振り禁止
 - 間合い：打突部位が新聞紙上端に届く距離
 - 目標：新聞中央を狙う。途中で弱めず、刃筋を直線のまま振り切る
 - 安全：前後左右の人との距離を確保。「はじめ」で開始、「やめ」で中止
- 誘導係が参加児童へ適切な寸法の竹刀を配布
 - 新聞保持者（2人1組）が所定位置で水平保持。実施者の肩の高さ＝新聞上端に調整
 - 誘導係の合図で実施開始。1人ずつ前進→新聞切り→所定位置に戻る



▲ 新聞保持の様子（2人1組で水平保持）

⑤ 配置例

列	担当者
A列	新聞保持：2名 ／ 誘導：1名
B列	新聞保持：2名 ／ 誘導：1名

⑥ 安全・運営上のポイント

- 竹刀は常に直線的な振り下ろしとし、左右への振り回しは禁止
- 新聞保持者は顔・手指の位置に注意し、必要に応じて軍手等を着用
- 待機児童はマット外に着座し、誘導係の呼び出しで前進
- 列間の間隔を十分に取り、交錯を防止
- 破損・変形した竹刀は即時交換。デモと同じ声掛け（開始／停止）を徹底

⑦ 競技形式（参考：参の型）

順位を決める場合は、新聞を重ねて厚みを変え、より厚い束を切れた方を勝ちとする方法が考えられます。

⑧ 振り返り（実施後の気づき）

【工夫した点・次回への改善】

- ・新聞を把持する時、二名とも均等な力で新聞がピンと張るように把持したら切れやすかった
- ・中央折り目に少し切れ目を入れると、気持ちよく切れる

⑨ 当日チェックリスト

✓ 確認項目

- ☐ 新聞紙（200枚程度）が準備できている
- ☐ 竹刀（複数サイズ）が揃っている
- ☐ 緩衝マットが敷設されている
- ☐ 安全域のマーキング（テープ等）ができている
- ☐ A列・B列の配置が決まっている
- ☐ 誘導係・監督者・新聞保持者が配置できている